

皆様には日頃からご指導ご支援を賜わり、心より感謝申し上げます。

当協会は、本年度も事業計画に基づき、成長ホルモン治療関係、研究助成事業およびヨウ素関連調査研究事業等を着実にすすめていく所存であります。本年度も格別のご指導ご協力を頂きますようお願い申し上げます。

第34回理事会開催(ハイブリッド形式)

2022年3月2日(水)午後2時より、理事13名出席のもと開催した。

第29回評議員会開催(ハイブリッド形式)

2022年3月9日(水)午後2時より、評議員14名出席のもと開催した。

上記両会議とも、2022年度事業計画および2022年度収支予算について、いずれも原案通り承認された。

第35回理事会(書面決議)

2022年度FGHR臨床研究助成金交付について承認された。

FGHR(Forum on Growth Hormone Research)臨床研究助成金交付者決定

公募したところ(1月27日締切)全国より9件の応募があり、審査の結果、次の5名に交付が決定。

井口 元三 神戸大学保健管理センター
／医学研究科病態情報学

鏡 雅代 国立成育医療研究センター
分子内分泌研究部
臨床内分泌研究室

鞆嶋 有紀 島根大学医学部小児科
伊達木澄人 長崎大学大学院医歯薬学
総合研究科小児科学

本田 美紗 慶應義塾大学医学部
小児科学教室

2022年度研究助成金・指定課題研究・自由課題研究・ノルディサイエンス研究募集について

●指定課題研究募集

1. 研究助成の対象の研究分野

多施設による共同研究チームで行う成長科学に関する研究であって、次の研究分野のいずれかに該当するもの。

- (a) 成長ホルモン療法の治療効果に及ぼす諸因子の解析並びにアドバース・イベントの調査に関する研究
- (b) 成人成長ホルモン分泌不全症患者の病態解析、診断、治療及び追跡調査に関する研究
- (c) 成長ホルモン及び関連因子の測定に関する研究
- (d) ヨウ素摂取と甲状腺機能、成長発達との関連に関する研究
- (e) 低身長児(者)の生活の質に関する研究

2. 助成金額：

予算の上限は1年1課題につき

- (a) 200万円 (b) 50万円 (c) 50万円
- (d) 70万円 (e) 50万円

3. 助成期間：原則として1期(2年)

4. 応募方法：

必ず3施設以上による共同研究チームを
組み、当協会所定の申請用紙に記載のう
え、6月30日迄(郵送必着)に提出して
下さい。

●自由課題研究募集

1. 研究助成の対象の研究分野

ヒトの成長並びに成長ホルモン及び成長ホルモンの関連因子に関する臨床及び基礎研究。

2. 研究課題：

上記の研究分野に関し、応募の研究者が提案する課題

3. 助成金額：1件につき50万円

4. 助成期間：1年

5. 応募方法：

- (1) 当協会所定の申請用紙に記載のうえ、6月30日迄(郵送必着)に提出して下さい。
- (2) 1施設からの応募は1題に絞って下さい。
- (3) 外国での研究については、応募をご遠慮下さい。

●ノルディサイエンス研究募集

1. 研究助成の対象の研究分野

ノボノルディスクファーマ(株)の研究助成として、成長ホルモン治療に係わる臨床研究を対象とし、今後の臨床の発展に寄与すると認められる研究。

2. 研究課題：

上記の研究分野に関し、応募の研究者が提案する課題

3. 助成金額：1件につき90万円

4. 助成期間：1年

5. 応募方法：

- (1) 当協会所定の申請用紙に記載のうえ、6月30日迄(郵送必着)に提出して下さい。
- (2) 1施設からの応募は1題に絞って下さい。
- (3) 外国での研究については、応募をご遠慮下さい。
- (4) 2022年4月に交付されるFGHR臨床研究助成金対象者は応募できません。

★上記研究助成金は、応募者が所属する研究施設等の間接経費・一般管理費等は助成の対象になりません。

★上記募集の選考結果は、9月中旬に応募者に通知します。

なお、申請用紙は、当協会ウェブサイトよりダウンロードできます。

<http://www.fgs.or.jp/>

お知らせ

1. 糖尿病が成長ホルモン治療の禁忌から削除されました。

いままで、糖尿病に対して遺伝子組換え成長ホルモン治療は禁忌でありましたが、日本内分泌学会、日本小児内分泌学会からの要望により、小児、成人ともこの4月から禁忌から削除され、「注意」として記載されることになりました。

詳しい内容は、添付文書を参照してください。

なお、長期作用型ヒト成長ホルモンにおいても、糖尿病は禁忌ではありません。

2. 2022年4月に、長時間作用型遺伝子組換えヒト成長ホルモン製剤 エヌジェンラ®皮下注(ファイザー株式会社)が「骨端線閉鎖を伴わない成長ホルモン分泌不全性低身長症」に対する適応を取得したことにより、成長ホルモン分泌不全症の治療成績報告書に薬剤名「エヌジェンラ」を追加しました。

エヌジェンラを使用される場合には、記載された用法・用量「0.66mg/kgを1週間に1回皮下投与」を守って使用し、実際に行われた投与方法について治療成績報告書に記載していただくように、お願い申し上げます。

寄附ご芳名

ニュース126号以後、次の方々からご寄附がありました。貴重なご寄附、誠に有難うございました。

日宝化学株式会社 様

K&Oヨウ素株式会社 様

(順不同)